

# 化学物質安全データシート

製造者情報      会社名      ダイアプラスフィルム株式会社  
住      所      愛知県名古屋市中村区岩塚町大池2  
担 当 部 門      管理部 品質保証グループ (養老工場)  
電 話 番 号      (0584)32-3577      :      F A X (0584)34-3641  
緊 急 連 絡 先      同 上  
電 話 番 号      同 上

作成・改定 平成26年 4月 1日

製品名(化学名・商品名等)

DRセメントA

組成及び成分情報 単位物質・混合物の区別 : 混合物  
化 学 名 : アクリル系樹脂エマルジョン系接着剤  
成分および含有量 :

成分名	含有量 (%)	CAS NO.
変性アクリル樹脂	58	25767-84-4
水	42	

化審法No. : 6-553

労働安全衛生法(第57条2)対象通知物質 : 該当せず

P R T R 法 : 該当せず

危険有害性の要約

GHS分類に該当しない他の危険有害性:

皮膚に付着したままにしますと、炎症をおこす場合があります。

蒸気を吸引しますと、頭痛をおこす場合があります。

応急処置

目に入った場合 : 清浄な水で15分間以上洗眼し、眼科医の診断を受ける。

皮膚に付着した場合 : 付着した衣服、靴を脱ぎ、付着した部分を水または微温湯を流しながら、洗浄する。

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、安静、保温に努め、医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合 : 水で口の中をよく洗い、直ちに医師の診断を受ける。

無理に吐き出させないようにする。

## 火災時の措置

特定の消火方法：このもの自体には可燃性はないが、水分が蒸発した後の乾燥物は可燃性である。燃焼の際は、火元の燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。延焼の恐れのないよう水スプレーで周辺を冷却する。消火作業は風上から行い。

消火を行う者の保護：保護衣を着用するほか、状況によっては、不浸透性手袋、有機ガス用防毒マスク等の保護具を着用する。

消火剤：水 [○]，二酸化炭素 [○]，泡 [○]，粉末 [○]，乾燥砂 [○]  
その他（ 強化液 ）

---

## 漏出時の措置

人体に対する注意事項：作業の際には長靴，手袋，保護眼鏡などの保護具を着用する。

環境に対する注意事項：流路を毛布，土嚢等を用いてせき止め、多量流出の場合はバキューム等で汲み上げ、又、少量流出の場合はおが屑，土砂，パーライト等を混ぜ、モルタル状として凝固回収する。

除去方法：少量の場合は、紙や布でふき取り焼却する。多量の場合は、火花の出ないシャベル等で密閉できる容器にすくい取り、焼却する。

※多量に河川、湖沼へ流出した場合は、必要に応じ都道府県市町村の公害関連部署等に直ちに連絡を取る。

---

## 取り扱い及び保管上の注意

取扱い：取扱いは、換気の良い場所で行う。

目，皮膚への接触を防止するため、状況に応じ保護眼鏡，保護手袋などの保護具を着用する。

混合接触させてはならない物質：知見なし。

容器包装材料：容器は破損、腐食、割れ等のないものを使用する。

保管：凍結，直射日光を避け、屋内で保管すること。

保管時の温度は、5℃以下あるいは35℃以上とならないようにする。

皮張り防止のため、使用後は密封して貯蔵する。

---

## 暴露防止及び保護措置

設備対策：蒸気，ミストが発生する場合には、局所排気装置などの排気のための装置を設置する。

保護具：呼吸器の保護具：状況に応じ、有機ガス用防毒マスクを着用する。

手の保護具：状況に応じ、PE，ゴム製等の非浸透性の手袋を着用する。

目の保護具：状況に応じ、保護眼鏡を着用する。

皮膚及び身体の保護具：状況に応じ、長袖作業衣等を着用する。

---

## 物理及び化学的性質

外観 : 乳白色粘稠液  
色 : 白色  
臭い : わずかにあり。  
PH 及びその濃度 : pH 5.5 ~ 7.5  
物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲 :  
沸点 : 約 100℃  
凝固点 : 約 0℃  
溶媒に対する溶解性 : 水で無限大で希釈可能

---

## 安定性及び反応性

安定性 : 通常の手扱い条件においては安定。  
危険有害反応可能性 : 水禁忌物質との接触  
避けるべき条件、材料 : 水禁  
危険有害な分解生成物 : 知見なし。

---

## 有害性情報

急性毒性 : 知見なし。  
局所効果 (皮膚, 眼) : 皮膚に付着したままにしますと、炎症をおこす場合もあります。  
蒸気を吸引しますと、頭痛をおこす場合もあります。

---

## 環境影響情報

漏洩時、廃棄などの際には注意を守ること。  
生態毒性 : 知見なし  
残留性/分解性 : 知見なし  
生体蓄積性 : 知見なし  
土壌中への移動性 : 知見なし  
他の有害影響 : 魚毒性 : 河川等に流出した場合には、エマルジョン中の樹脂の粘着による呼吸困難のため、魚類が死亡する場合があります。

---

## 廃棄上の注意

残余廃棄物 : 廃棄物の処理及び清掃に関する法律の分類では廃油と廃プラスチック類の混合物で、焼却する場合は、焼却設備を用いて少量ずつ焼却する。又、産業廃棄物として処理する場合は、許可を受けた処理業者に委託する。  
洗浄水等の廃水は凝集沈殿、活性汚泥等の処理により清浄にしてから排出する。  
水質汚濁防止法に御注意下さい。  
汚染容器・包装 : 内容物を完全に除いた後処分する。処理は法規の規定に従って行う。

---

## 輸送上の注意

運搬に際しては容器の漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

参考資料：日本エマルジョン工業会編「合成樹脂エマルジョンの輸送事故対策指針」

---

#### 適用法令

日本化学工業協会編「製品安全データシートの作成指針」の分類に掲げられる諸法令の適用を受けない。

P R T R法：該当せず

---

#### その他の情報

ホルムアルデヒド基準：（日本接着剤工業会）室内空気質汚染対策のための自主管理規定  
J A I A 0 0 6 8 3 4 F☆☆☆☆

記載内容は、現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては情報提供であり、いかなる保証もなすものではありません。また、記載事項は通常の実施を前提としたものですので、特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取扱い願います。

#### 引用文献

1 1 3 1 9 7の化学商品	化学工業日報社
2 化学物質の危険，有害便覧	中央労働災害防止協会
3 知っておきたい職場の化学物質	中央労働災害防止協会
4 製品安全データシートの作成指針	日本化学工業協会